

自然を大切に 気持ちを持って……

レイカディア大学を卒業された甲賀町の同窓会生で組織されている甲賀会の方々がボランティア活動として甲賀町の中央公園周辺の樹木に表示札を取り付けていただきました。

これは以前から公園を利用している方々から多く植樹されている木の名前がわかれば子どもにも参考になり、自然を大切に 気持ち が深まるのに、という声をよく耳にしたことから、同会の皆さんが協力して取り組まれたものです。これまで樹木の名前を図鑑で調べ、葉と照合するなどの大変な苦勞があったとのこと。そこで公園のメンテナンスをしている貞武伸さんの指導により公園内の樹木の名前が判明したそうです。

代表の橋本元夫さんは「今後も会員の方々と相談してできる範囲でボランティア活動を続けていきたいです。」と話されていました。

公園を利用される皆さんが自然を大切に 気持ち が深まればいいですね。



公園周辺の木に名札を取り付ける皆さん

東近江子ども和太鼓連合「和っ！」による元気いっぱい演奏が繰り広げられました。
第2部の「大人の部」では高島市の「あど川ふじ太鼓」、木之本町の「和太鼓集団鼓彩神」、奈良県宇陀市の「倭太鼓 榛」、奈良県葛城市の「當麻太鼓白鳳座」、そして地元甲賀市の「小佐治すいりょう太鼓」の5チームが個性あふれる力強い演奏を披露しました。
第3部ではゲストとして「スーパー桶太鼓ユニットZーPANG」と出演者全員による迫力満点の「100人太鼓」でフィナーレを飾りました。ゲストの「ZーPANG」は関東を中心に活動しているソリストで、和太鼓に洋楽器を加え約1時間にわたりに残る演奏を会場に響かせ、客席からは惜しみない拍手が送られていました。



クライマックスの「100人太鼓」

8月26日(土) 鹿深夢の森で9回目を迎える「和太鼓サウンド夢の森2006」が盛大に開催されました。
今年も過去最高となる約2,500人を超える来場者が市内はもとより県内外から訪れ、鹿深夢の森の会場がいっぱいになりました。
今年も3部制とし、第1部の「子どもの部」では地元甲賀市の「甲賀忍玉太鼓団」、三重県松坂市の「和太鼓グループ響座いなせ組」、三重県伊賀市・東近江市・甲賀市の4チームにより編成された合同チーム「甲賀・伊賀、



みんなで力を合わせて演奏された「甲賀・伊賀、東近江子ども和太鼓連合「和っ！」」の皆さん

青年海外協力隊での活動を通して

甲賀町鳥居野にお住まいの中井^{のりあき}律彰さんが青年海外協力隊として2年間の活動を無事に終え、市に帰国報告をされました。中井さんは以前からボランティア活動に興味を持ち、何か活動できることは無いかと探していたところ、青年海外協力隊に目がとまり今回の活動を決められたそうです。南米のエクアドル共和国に2年間滞在され、これまで携わってきた自動車整備などの技術を現地の生徒に教えてもらいました。

中井さんは「南米エクアドルでは貧富の差が激しく勉強したくても、また仕事をしたくてもできない人々がたくさんいます。日本の海外協力隊の制度を利用し皆さんも貴重な体験をしてほしいですね。」と語っておられました。

今後のご活躍に期待します。



現地の生徒に自動車の構造について教える中井さん



エクアドルで現地の方々と(中央右が中井さん)

甲賀に響いた和太鼓の音 2006 サウンド

陶芸の森に親子の歓声

こども信楽焼教室



ロクロに向かい作品を作る参加者

陶芸の森で子ども向けの「信楽焼」体験教室が開催されています。

この教室は夏休みが始まった7月25日(日)から継続的に行われているもので、第1回は「ろくろ教室」として6回連続で土揉みから湯飲みなどをロクロで作りました。会場となった創作室では保護者に連れられた子どもたちで満員になりました。ロクロは陶芸の中でも難しい分野ですが、それでも立派な壺を作る親子もいました。9月からの「手びねり教室」では信楽に古代から伝わる技で壺・鉢などに挑戦してみようという試みで、この教室でも子どもたちの歓声の中で終了しました。

今後も様々な陶芸教室が予定され、11月11日(土)には「窯焚き教室」が開催されます。焼き物の原点である「野焼き」体験、野焼きから発展してきた「穴窯」(新窯)の焼成体験もできます。関心のある方は一度問い合わせしてみてください。

◎こども信楽焼教室◎
対象 小学校4・5・6年生
定員 各回20名
時間 10:00~16:00
参加費 500円
(陶芸館の入館料を含む)

問い合わせ先
県立陶芸の森
子どもしがらき学係
TEL 83-0909
FAX 83-1193

甲賀市を満喫!

日独スポーツ少年団 同時交流事業

7月19日から第33回日独スポーツ少年団同時交流事業が実施されました。これは日独両国のスポーツ少年団の青少年、指導者の相互交流により、友好親善を深めるとともに、国際的能力を高め、両国の青少年スポーツの発展のために調印された「日独スポーツ少年団国際交流協定書」に基づき行われたものです。甲賀市では、7月31日から8月6日までの間、市民の方々の協力を得て、7世帯にホームステイされました。ドイツ一行は、到着された7月31日に市役所を表敬訪問した後、あいこが市民ホールで、市スポーツ少年団などによる歓迎レセプションに出席されました。翌8月1日からは信楽で、作陶体験、翌2日は、土山で魚つかみ、染物を体験した後、市内在住の高校大学生を中心とした青年11名と「21世紀私たちが何ができるか?」学校スポーツ、地域のために」と題し、熱のこもったディスカッションを行いました。また翌3日には甲南で和菓子製作体験やお茶のお手前、スポーツチャンバラ、甲賀で忍者体験や太鼓演奏などを体験されました。そして5日にさよならパーティーに参加した後、最終日である6日に次の目的地である東京へ向かわれました。



日独スポ小交流事業に参加した皆さん

寄付・寄贈

◎チャリティとして
リクライニング式車椅子一台
積化学労働組合様

◎義援金
平成18年梅雨前線による
大雨の被害に伴う義援金
3件 12,500円

◎福祉事業のために
甲南町域第二名神工事
連絡協議会様
21,000円

「厚意に感謝します
とともに大切に使用させていただきます。」